

学校番号	2004
------	------

令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

書作を通して、書に関心を持ち愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、探究心を育成し表現と鑑賞の能力を伸ばす。

また、相互批評などのグループ学習をすることでコミュニケーション能力の向上をめざし、書道芸術作品と自他を尊重する心を育む。

授業の進め方については、授業毎の目標を明確化し、表現(書作の意図・書写技能)と鑑賞を並行して扱い評価については、各单元・授業毎の作品・ワークシート提出等でおこなう。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育成するとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞能力を伸ばす。書を生活の中で身近なものであると認識し、文化的教養を身に付けるとともに表現することを通じ自他を尊重する心を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感じ、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的かつ効果的な書表現をするために、使用する筆記具の特性を理解し、構想に基づいた表現の技能が身についている。	書作品の構想・工夫などの表現意図を、創造的に鑑賞することができます。
評価方法	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学 期	单 元 (学習項目)	学習内容	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評 価 方 法
			a	b	c	d		
1 学 期	「いろはうた」による作品製作①	◆「いろはうた」を題材に作品製作をする。 ◆様々な表現技法を習得する。	○		○		a : 制作意図を理解し積極的に取り組んでいる。 c : 1本の筆で様々な線を書き分ける技能を身に付け表している。	作品観察
	「いろはうた」による作品製作②	◆全員同じ言葉を使用し、作品制作することで、自分にしか書けない作品をテーマにし、文字における個性と表現の工夫を個々に見つけ出す。		○		○	b : 用筆法を工夫し、字間行間を工夫している。 d : 自分の作品の工夫、他者の作品の工夫を相互批正し合う事で、個々の作品の良さを味わっている。	ワークシート 作品批評レポート 観察
	「いろはうた」作品のパネルまたは軸装篆刻	◆制作した作品を展示できる形にすることで書作品への関心を深めるとともに次回作への向上心と反省の念を促す。 ◆「いろはうた」作品に押す印の制作	○	○			a : 表具（装丁）作業において自分の作品を大切に扱っている。 物品・器物への取扱に注意し、安全に作業を行っている。 b : 作品に合う印になるよう工夫している。	作品感想レポート 観察
2 学 期	小作品制作	◆墨・紙と字形の変化を工夫し、語句、単語を豆色紙に書作する。 ◆作品の趣が、語句の意と合致するよう表現の工夫を促す。	○	○			a : 制作時の意図を理解し積極的に取り組んでいる。 b : 語句の意味を感性をもって理解し、意図をもって表現できているか。	ワークシート 作品観察
	実用細字	◆小筆を使用し学習する。 ◆祝袋など冠婚葬祭を中心とした書式を学ぶとともに、字くばりなどのバランス感覚を学ぶ。		○		○	b : 用筆法だけでなく、紙面に対する文字の大きさや余白を考え工夫している。 d : 作品の相互批評を行い、バランス良く書くとは何かを理解しその良さを味わっている。	ワークシート 作品観察
	さまざまな書式	◆命名・結納など筆書きの書式を学習する。	○	○			a : 書式に応じて美しい文字を書くために、積極的に取り組んでいる。 b : 用筆法だけでなく、紙面に対する文字の大きさや余白を考え工夫している。	ワークシート 作品観察

※令和3年度以前入学生用

3 学 期	さまざま表現	<ul style="list-style-type: none"> ◆ポスターやメニューを作成する ◆自分の氏名や商品や店名ロゴを筆文字でデザインする 			b : 適切な表現方法を選択し、文字の大きさや配置など、構想に基づいて工夫している。 d : 制作者の表現の意図や、紙面に対する文字の大きさ配置など、根拠を持って相互批正している。	ワークシート 作品 批評レポート 観察
			○	○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。